

統計審議会会長 溝口 敏行 殿

総務庁長官 続 訓弘

諮問第264号

平成13年に実施される社会生活基本調査の計画について

標記について、貴会の御審議を得たい。

理 由

総務庁は、平成13年に実施を予定している社会生活基本調査（指定統計第114号を作成するための調査）について、国民の生活時間配分と生活行動の実態をよりの確にとらえるため、生活時間ごとの行動について自由記入を求めるアフターコード方式調査票を新たに導入する計画である。

また、新たな統計ニーズへの対応、調査の円滑な実施等を図るため、調査事項の変更、調査期日の変更、標本設計の見直し等を行うこととしている。

本調査は、生活時間配分と生活行動の実態を世帯属性との関連において明らかにする唯一の調査であり、今回の調査計画については、アフターコード方式調査票の導入等の重要性にかんがみ、諮問第242号の答申「統計行政の新中・長期構想」等を踏まえ、慎重に検討する必要がある。